

<コロナ禍で働く父母への仕事・育児・家事 実態アンケート> 「子どもと一緒にいるのに 一緒にいられない」“在宅勤務ギルト” (罪悪感) もっとも多くのパパママが「頼れる場所 = 保育園」と回答

株式会社ポピンズ(東京都渋谷区、代表取締役社長：轟 麻衣子)は、保育の日(4月19日)にあわせ、働く保護者様にアンケートを実施いたしましたのでご報告いたします。

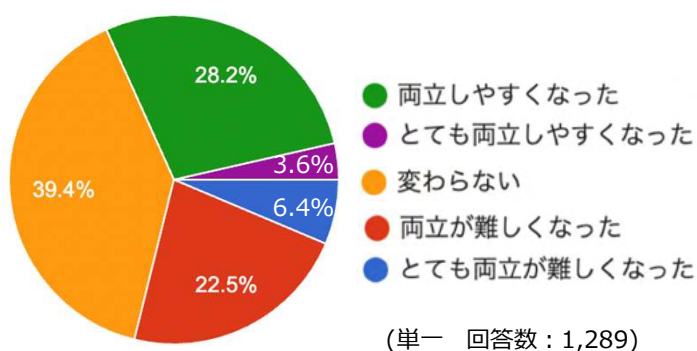
■調査概要

- ・ 調査対象：ポピンズナーサリーにお子様に通園している働く保護者様
- ・ 調査時期：2022年4月1日～2022年4月11日
- ・ 調査方法：連絡帳アプリを通じて告知し、インターネット調査のGoogle フォームを利用して調査
- ・ 有効回答数：1,295

■調査結果

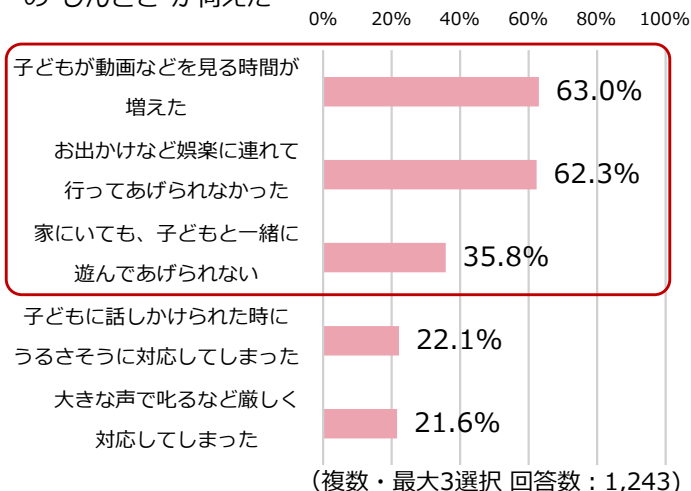
Q：コロナ禍において、「育児と仕事の両立」はどう変化がありましたか

「両立が難しくなった」と「両立しやすくなった」が共に約3割



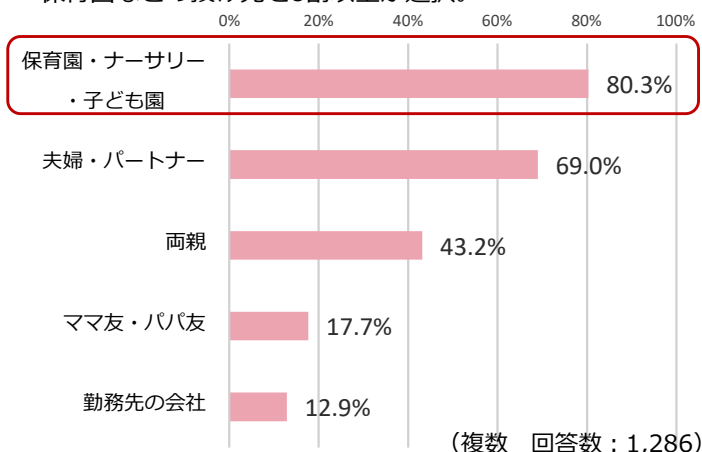
Q：コロナ禍における子育てで、罪悪感を覚えたことがあれば教えてください (上位5位を表示)

子どもと一緒にいるのに、動画ばかり/お出かけ不足/遊んであげられない…など、一緒にいるからこそ感じる理想とのギャップへの“しんどさ”が伺えた



Q：コロナ禍での子育てにおいて、頼りになると感じた存在は (上位5位を表示)

保育園などの預け先を8割以上が選択。



Q：しんどいと感じた時にかけられて嬉しかった言葉があれば、誰からの・どのような言葉が嬉しかったか教えてください (一部紹介)

「保育士のみなさんからの子育てのヒントになるようなアドバイスがとても嬉しかったです」
「自宅待機でもオンライン保育してくださったこと」
「夫からの労いの言葉やポピンズでお迎えの際に成長と一緒に喜んでくれる先生の言葉にはとても励まされます」
「リモートで家に居ても遊んであげられず、話も聞いてあげられなかったと罪悪感を感じていた時、子供から就寝前に“今日も一緒にいられて楽しかったね”と言われた時」
「休園で仕事を休まなければならなかったとき同僚に“お互い様”と言ってもらえて気が楽になった」
「助産師さんから、はじめての育児に対してママも赤ちゃんも最低限生きていればいいから気を楽にと言われた事」
「ママ友たちからの、どんなことでも気軽に頼ってください、という言葉」

(自由回答)



Poppins

■ ポピンズグループ会社概要

ポピンズグループは、1987年創業以来「働く女性を 最高水準のエデュケアと介護サービスで支援します」をミッションに、ナニーサービス、ポピンズシッター、ナーサリーや学童、オーダーメイド介護のVIPケアサービスなど、働く女性の多様なニーズにお応えしてまいりました。

■ ポピンズグループのSDGsへの取り組みについて

2020年に日本初のSDGs-IPO企業として東証一部に上場。創業以来、事業そのものでの社会貢献を目指してまいりました。ポピンズが特に注力してアクションするのは4番「質の高い教育をみんなに」5番「ジェンダー平等を実現しよう」8番「働きがいも経済成長も」の3項目です。日々ナニーサービスやナーサリー、学童で行うエデュケアなど、実践でのSDGsの取り組みに加え、ハーバード大学教育学大学院・プロジェクトゼロと共同で「子どものためのSDGs」をテーマに研究を進めるなど、アカデミックな面からも貢献を目指しています。その他、公式フェイスブックでもSDGsの取り組みを紹介中です。

<https://www.facebook.com/PoppinsCorporation>

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



株式会社ポピンズは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

社名：株式会社ポピンズ（プライム市場）

住所：東京都渋谷区広尾5丁目6番6号

設立：1987年

代表取締役会長：中村 紀子

代表取締役社長：轟 麻衣子

ホームページ：<https://www.poppins.co.jp/hldgs/>

主要子会社：

株式会社ポピンズエデュケア

株式会社ポピンズファミリーケア

株式会社ポピンズプロフェッショナル

株式会社ポピンズシッター

株式会社ウィッシュ